

インフォメーションディスプレイ Vol.37



財団法人松戸市文化振興財団
事務局長補佐

上東 幸一 様 田島 純子 様



森のホール21 様

総合公園「21世紀の森と広場」の一角に行む「森のホール21」は、多目的ホール、会議室、スタジオなどの多彩な施設と豊かな自然が調和した文化の森。さまざまなジャンルのアーティストの公演や松戸市民の文化活動に幅広く活用され、文化・芸術振興の中心となっています。



所在地：千葉県松戸市千駄堀

インフォメーションはおもてなしの一部。
お客様の目を引きつけ、感動の場へ導きます。

PN-G655
2台導入

市民のための劇場「森のホール21」のロビーは、清々しい大空間。アトリウムを望む窓辺では、鮮やかな映像が訪れる人を迎えています。

「ここは来館された方が最初に立ち寄られるフロントです。インフォメーションディスプレイで館内各施設の催し物をご案内しています。」
毎日更新される館内インフォメーションの運用は、人手に頼りすぎると経費や手間の負担が増し、ミスも起きやすくなります。そこで、既存のデータベースを利用できるよう、システムをカスタマイズ。データを『e-Signage(イーサイネージ)』に自動取込みすることにより、コンテンツ作成から配信までを自動化、運用・管理の省力化が実現できました。「施設の予約情報データベースから当日のデータを吸い上げ、自動的にコンテンツを生成し、自動配信しています。急な変更や修正が必要ときは手を加えますが、通常は簡単な更新作業だけで、特別なオペレーションは必要ありません。」

多くのお客様が行き交う劇場では、わかりやすい案内は重要なサービス。それを支えているのは、見やすいディスプレイと扱いやすいシステムです。



正面玄関を入ると真っ先に目に飛び込んでくる館内インフォメーション。
2台の「PN-G655」に館内の催し物が次々と映し出されていく。

導入時の評価ポイント

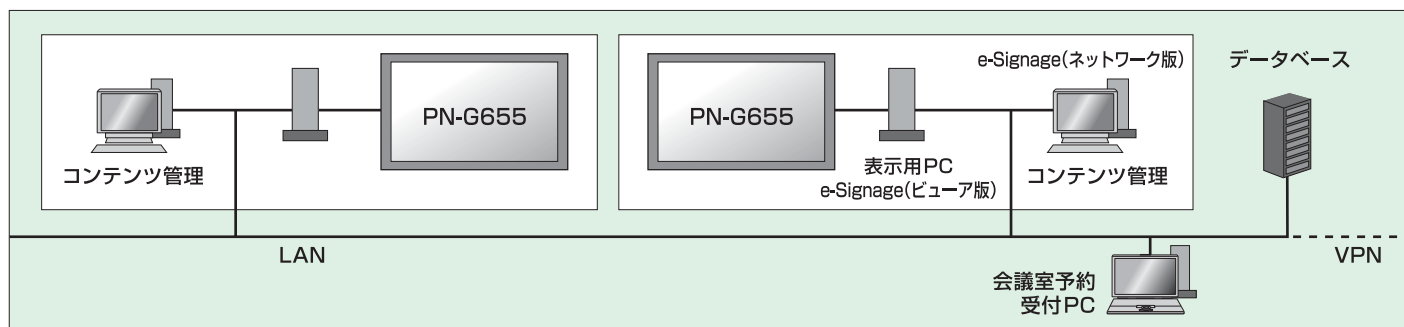
■ 広い空間で迫力ある情報表示
■ 65V型大画面ディスプレイ

■ きめ細かな情報表示を可能にする
■ フルスペックハイビジョン

■ 明るい場所でもくっきり見られる
■ ASV低反射ブラックTFT液晶

■ コンテンツ作成・配信・表示をサポート
■ コンテンツ配信/表示システム『e-Signage』(イーサイネージ)

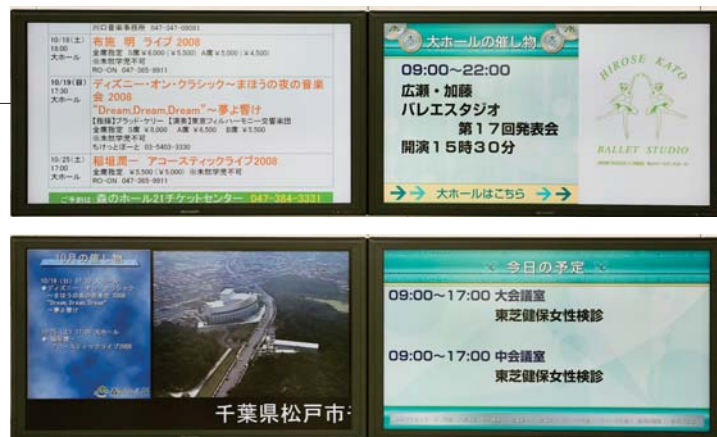
■ システム概略図



導入の経緯

テキストも映像も
見やすいディスプレイ

この春まで、館内では100インチのLEDモニターが案内板の役割を担っていました。しかし、導入から15年を経て画質が著しく劣化。それがリニューアルのきっかけでした。「LEDで当日のご案内を、別のPDPで先々の公演の予告案内をしていましたが、今回は65V型2画面で、2種類のインフォメーションを1カ所で並行して見られるようにしました。」大空間にふさわしい大きさ、外光が差し込んでも映り込みが少なく見やすいので、明るいフロント正面に設置ができること。加えて、表示が美しく迅速なアフタサービスが可能なのが、インフォメーションディスプレイの導入ポイントとなりました。



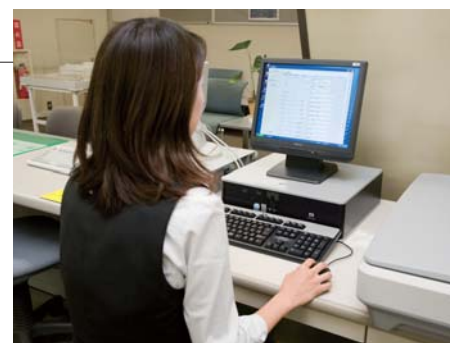
主なコンテンツは、当日の催し物案内、公演予定とアーティスト情報。テキストと静止画のスライドショーにテロップを組み合わせている。

導入後の感想

“快適”を主眼とするインフォメーション

小さなお子さんから高齢者の方々まで、利用者が幅広い公共施設には、人に優しい運営ノウハウが求められます。的確なインフォメーションもその一つ。「あくまでもお客様サービスですから、快適にご利用いただけるよう、確実な案内をすることが第一です。いまのところ、お問い合わせはほとんどありませんので、概ね上手く機能していると思います。」

システムを管理する側も、リニューアルによる運用上のトラブルはなく、快適に使用されています。「既存のシステムを活かしてスムーズに移行できましたし、スタッフの作業負担も少なく、一定の成果は得られました。ただ、これで完成ではないので、改善すべき点は改善し、次につなげていきたいですね。」



毎日の情報更新は「データを取得し、ワンクリックで更新終了。データの修正も簡単です。」と担当の田島さん。

今後の展開予定

館内インフォメーションの枠を越える

見やすく美しい表示と効率的な運用は実現しました。では、次の課題は何でしょうか。「現在は定型のご案内、お知らせに使っていますが、さらに広い活用が可能ですし、演出効果も狙っていききたいところです。まずは、文化会館として、この場に合ったプログラムを

どう見せていくかに注力したいと思います。」フロア・施設ごとにディスプレイを設置することも一つの方策です。「大ホールには大ホールの、会議室フロアには会議室の案内を。場所によっては看板やポスターのように使ってもいいですね。

多チャンネル化して、もっと親切な情報提供をしていきたいと考えています。」文化・芸術の“いま”を映し出す窓として、より細やかな情報発信を。市民のためのインフォメーションの“これから”が見えてきました。

● お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年8月発行